

★脂肪乳剤について★



脂肪乳剤とは

大豆油の中性脂肪を原料としてこれに乳化剤として精製卵黄レシチンを加えたもの。浸透圧比は1で等張となっており、静脈炎のリスクが少ないです。

当院採用：20%イントラリポス 100mL

なぜ脂肪乳剤が必要？

脂質には人間の体内で合成できないリノール酸や α -リノレン酸などの必須脂肪酸が存在し、食事などから摂取する必要があります。経口摂取が困難な場合は輸液による栄養管理を行います。ビーフリードなどの末梢静脈栄養輸液やエルネオパNFなどの中心静脈栄養輸液の脂質含有量は0gです。このような輸液のみで長期的に栄養管理を行う場合、必須脂肪酸欠乏となる可能性が出てきます。必須脂肪酸が欠乏すると皮膚の乾燥や脱毛などの症状が現れます。

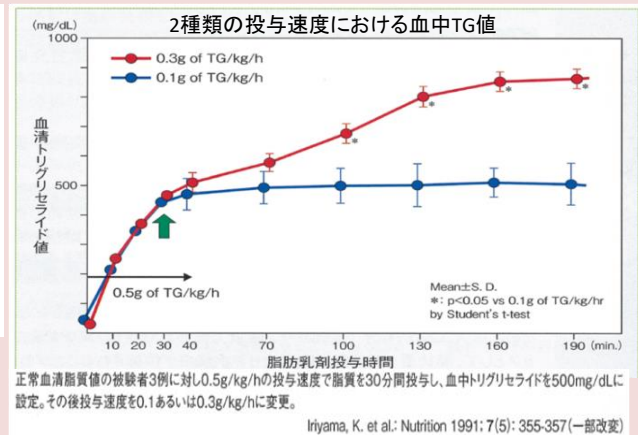
脂肪乳剤の投与速度について

イントラリポスの添付文書では「3時間以上かけて点滴静注」となっていますが、静脈経腸栄養ガイドライン第3版では脂質代謝の観点から「**0.1g/kg/h以下**」での投与速度が推奨されています。

投与速度が速すぎるとイントラリポスの脂質粒子がうまく代謝されず血中に停滞し、高脂血症を来す危険性があります。(下図参照)

当院採用の20%イントラリポス100mLであれば投与速度は、**(体重÷2)mL/h**で簡易に計算ができます。

※ 例：体重50kgであれば…
 $50 \div 2 = 25 \text{mL/h} \rightarrow 4$ 時間で投与



脂肪乳剤の適切な使用にご協力お願いいたします。